

保存版

ほっとする 遠野の里構想



はじめに …… 1

みんなでトライ！ ミニミニ・テスト …… 2

あなたはわかるかな？ 遠野についてどのくらい知っていますか？

遠野町の現状 …… 4

遠野町はいまこんなことになっています

——面積、人口、人口減少のスピード

遠野のこれからを考える …… 5

遠野町が抱える問題 …… 6

大好きな町にするためには、

ちよつと胸が痛むような問題に向き合うことから始めよう！

——産業・経済／社会基盤の問題

——自然・環境問題

——福祉・教育・文化の問題

遠野町の魅力発見 …… 8

さあ、宝探しにでかけよう！



いままでのまちづくり活動 …… 10

こくんなことをみんなでやってきました！

いざ！ まちづくり構想へ …… 12

わたしたちの描く遠野のイメージはこれだ

まちづくりに取り組む姿勢と意識 …… 13

目標達成までの期間を視野に入れましょう …… 13

イメージの実現と課題克服のために …… 14

具体的に取り組みましょう！ …… 15

構想を現実に …… 20

絵に描いた餅にならないように

行動計画・役割分担表 …… 22

《付録》データで見る遠野町 …… 29



はじめに

遠野町では、平成八年作成の「(仮称)川の家構想」に基づいて、まちづくりを進めてきました。この間、日本の社会・経済情勢は刻々と変化し、ここ遠野では少子・高齢・過疎の傾向が鮮明になってきました。実際に、空き家、荒れた田畑・山林などが目に付くようになりました。

こうした状況をふまえ、「(仮称)川の家構想」のリニューアルとしてスタートした作業を見直し、新しい構想づくりに路線を変更しました。地区の全域・全分野におよぶ取り組みが必要であるという考えから、効果的な対策の調査・研究や、意見交換などを重ねてきました。

そんな中、「何をやってもダメなのでは？」という意見から、「今行動をおこさないと手遅れになる」、「何とか活力を取り戻したい」、「お年寄りが安心して過ごせる地域にしたい」、「夢のある未来を子どもに残したい」など、様々な意見が寄せられました。

まちづくりには、多様な視点や行動力を持つ「ヨソ者、若者、バカ者(男女を問わない)」が力を発揮すると言われますが、強力な牽引役となるこういった人材は、今すぐには誕生しません。ですから、これからの地域を引っ張っていく人材の育成もまちづくりの大切な役割だと考えています。

変わることの大切さをあらわす中国の故事に「窮すればすなわち変じ、変ずればすなわち通ず」というものがあります。アメリカ大統領に就任したオバマさんはChange(変革)を訴えています。いつの時代、どこの地域にあっても、自ら変わることがスタートなのだと思えました。

構想を多くの方に知っていただけるよう、できるだけ読みやすく、分かりやすくまとめました。一人でも多くの方々の参加を得て、具体的な行動にうつされることを願って止みません。いっしょに遠野の歴史を刻んでいきませんか。

あした、そして次の世代のために。

最後に、構想の作成にあたり、貴重な時間を割いて会合などにお集まりいただいた皆様、はがきなどにより意見をお寄せいただいた皆様、支援・助言をいただいた行政機関及び編集ボランティアの皆様から感謝を申し上げます。

平成二十一年春

遠野町地域づくり振興協議会
会長 蛭田幸広